

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 7 年 11 月 7 日

設置・運営主体	社会福祉法人 青柳保育会		
設置主体	社会福祉法人 青柳保育会		
経営主体	社会福祉法人 青柳保育会		
事業所名 (施設名)	青柳保育園	種別	保育所
所在地	〒 350-1301 埼玉県狭山市青柳317-3		
電 話	04-2954-3850		
FAX	04-2954-6925		
Email	info@aoyagihoikuen.com		
URL	http://aoyagihoikuen.com/		
施設長氏名	嶋田 豊		
調査対応担当者	嶋田 豊 (所属、職名： 青柳保育園、園長)		
利用定員	60 名	開設年	昭和 48年 5月 1日
理念・基本方針			
<p>【理念】 人間を形成していく過程の子どもは、よい環境の中で育てられなければなりません。その子どもにとってよい環境とは何かを、保護者と一緒に考えて行きます。一人一人を大切に、自分（自分達）の未来を切り拓いていく意欲と主体性をもった子どもを育てていきます。木に例えれば、これから大きな幹を成し、枝を伸ばし、よい実の成るために必要な、大地にしっかりと広がる根っこの部分を保護者と一緒に育てて行きます。</p> <p>【保育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健康な子ども。 ・個人として、また集団として、遊びや生活を積極的に作り出して行く意欲を持つ子ども。 ・美しさ（心、自然、物音、雰囲気）など、を感じとれる子ども。 <p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活リズムを確立する保育。 ・主体性、自主性、自律心を育てる保育。 ・一人ひとりの成長に応じた保育。 ・体験（経験）を遊びに反映できる保育。 ・自発的、積極的な活動をする保育。 ・五感（感性）を育てる保育。 			
開所時間 (通所施設のみ)	平日：7：00～19：00、土曜日：7：00～18：00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	7	1		
1歳児		12	1		
2歳児	6	12	1		
3歳児	48	13	1		
4歳児		14	1		
5歳児		13	1		
計	60	71	6		

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		人	
うち	保育士	13人	保健師・看護師 0人
	栄養士・調理員	3人	その他（園長・主任・事務員・他） 5人
非常勤職員数		10人（常勤換算 人）	
うち	保育士	3人（常勤換算	1人）
	保健師・看護師	0人（常勤換算	0人）
	栄養士・調理員	2人（常勤換算	0.8人）
	その他（保育周辺業務）	3人（常勤換算	1.1人）

（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 1人	非常勤： 6人
	退職	常勤： 1人	非常勤： 3人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		44.7 歳（ 44 歳）	
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		7.5 年（ 8.5 年）	

（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	無料
延長保育	○	詳細別紙
休日保育	×	
障害児保育	○	無料
一時保育	○	詳細別紙
地域子育て支援センター	×	
乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）	×	
アレルギー等対応給食	○	無料
その他（事業名： 園庭開放事業・子育て相談）	○	無料

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 6 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

26 人

・ボランティアの業務

青柳まつり（販売・出店補助、駐輪場対応、着ぐるみ巡回、出し物発表、子ども対応他）
卒園児交流（子ども対応）
ふれあい運動会（大道具出し入れ、競技補助）

【実習生の受け入れ】

・令和 6 年度における実習生の受け入れ数（実数）

保育士 6 人

看護師 0 人

その他 7 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	1006.05 m ²
	児童1人あたり 16.7675 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	1024.45 m ²
	児童1人あたり 17.0741667 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	年 元 年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・毎年、父母会が取りまとめたご意見やご要望を11月頃に受け取っている。1月に回答と共に次年度の改善案を保護者に周知し、ご意見を伺ったうえで、新年度説明会にて保育園の決まりなどについて伝えている。説明後、質疑や不明点等について伺っているが、全体で質問しにくい方もいるため、その後各クラスに分かれてクラス説明会を行い、そこでも意見などを伺う。
- ・懇談会を年2回行い、保護者からの意見を伺っている。
- ・面談を年1回行い、保護者から意見を伺っている。
- ・行事ごとにアンケートを行い、各事業に反映できるようにしている。
- ・意見箱を設置し、ご意見を随時受け付けている。
- ・ご意見はメールでも受け付けていることを、しおり、説明会でもお伝えしている。
- ・定期的(3年おき)に第三者評価を受審し、保護者からの意見を反映できるようにしている。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

自然豊かな園庭あそびや林あそび、芋ほり、栗拾い等、自然の中での体験を豊富に行っています。また、近年、実施する園が減ってきてしまっている、もちつきや焼き芋、プール活動など様々な体験を子どもたちに提供できるように配慮しています。卒園後も、小学6年生までの子どもを招き、お泊り交流会という行事を行うことで、卒園後の成長の様子を確認し、保育に活かしています。保護者と共に子どもにとってよい環境とは何かを考えるという理念の実現に向け、ドキュメンテーションやクラスだより、園だより、機関誌「わらしっこ」などを通して、子どもたちの成長の様子や保育士の考え、保護者の思いなどを共有している。

【第三者評価の受審状況】

- ・ 受審回数（前回の受審時期）

6 回 （令和 4 年度）